

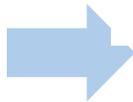
安全に関する 企業風土測定 ツール

安全に関する企業風土を

アンケート調査によって「見える化」します！



アンケート実施
(経営者、全従業員対象)



報告書の作成、納品

システムでアンケート調査結果を自動集計、報告書を自動出力！

同業他社平均値との比較で 自社の強み、弱みを客観視

設問ごとに数値化します。

同業他社平均値との比較が可能ですので、自社の強み、弱みが客観的に分かります。

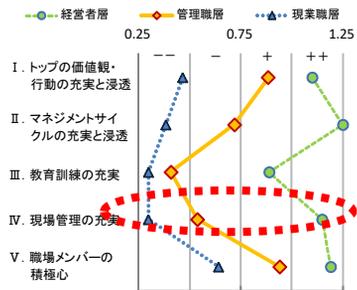
	○:当社 ■:他社平均			当社	他社平均	差異
	(低い) 0.25	0.50	(高い) 0.75			
I. トップの価値観と行動の充実と浸透		●		0.32	0.31	0.01
1. 経営理念(トップの価値観)		●		0.38	0.30	0.08
問49 経営姿勢への共感		●		0.32	0.01	0.31
50 コンプライアンスの浸透			●	0.56	0.53	0.03
56 経営執行の監視		●		0.25	0.35	-0.10
2. マネジメントシステム	●			0.16	0.27	-0.11
53 継続的改善	●			0.06	0.38	-0.32
54 管理者育成(人材育成)	●			-0.14	0.12	-0.26
55 現場情報の活用			●	0.56	0.32	0.24

※他社平均は、各4モード(鉄道、自動車、海運、航空)にそれぞれご用意しています

階層別安全意識のギャップ が鮮明に！

階層別に数値化し比較することでギャップが鮮明になります。

他に部門別、職種別など、分析軸はお好みで設定が可能です。



アンケート調査内容

このアンケート調査は58の設問からなり、これらの設問を14の区分に分類し、5つの領域に集計した上で測定・評価を行います。

1	私の職場では、あいさつ、身だしなみ、マナーについて、日頃から繰り返して指導がされている
2	私の職場では、日常業務(点検・整備など)の中で気付いた事が報告され、日々の改善に繋がっている
3	私の職場では、始業や引継時に、本人の状況をふまえて、親身になった指示・指導がされている
:	
58	私の会社では、経営者層と現場が安全に関して直接的に話し合う機会を積極的にもっている

回答方式は基本的に以下の5択形式となっており、回答に応じた得点を割り振り、集計を行います。

回答	得点
非常によく当てはまる	2点
多少当てはまる	1点
どちらともいえない	0点
あまり当てはまらない	▲1点
全く当てはまらない	▲2点

利用事業者様の声

階層別に見える化できたことで、どの階層にどんな課題があるのか、明確になった点が良かった。また職種別の分析を通じて、それぞれが抱える課題を浮き彫りにすることができた。

ヒューマンエラーを防ぐにはコミュニケーションを通して、どれだけ安全への意識を高められるかがポイントだと思っているが、その意識を見える化できるため、社員に問題提起がしやすい。

今後も継続して当データの取得を行い、改善が進んでいるのかどうかチェックしていきたい。

当初から課題だと感じていた安全に対する意識を、数値ではっきり見える化することができた。

アンケート調査の実施支援（無料）を行っています

実施支援の詳細については、下記の当研究所HPをご参照ください。
アンケート調査の実施支援申し込み、ご不明点等、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

国土交通省 国土交通政策研究所 研究官 久住

電話:03-5253-8816(直通) FAX:03-5253-1678 URL:<http://www.mlit.go.jp/pri/> Mail:hqt-anzen-pri@gxb.mlit.go.jp

